

南丹市地域公共交通会議
議 事 録

南丹市地域公共交通会議 事務局
(南丹市地域振興部地域振興課)

南丹市地域公共交通会議
(令和6年6月20日開催) 議事録

1. 招集年月日 令和6年6月5日(水)
2. 開催年月日 令和6年6月20日(木) 10時10分～10時30分
3. 開催場所 南丹市役所2号庁舎3階301会議室
4. 委員の総数及び出席者数並びにその氏名
 - (1) 委員の総数 25名
 - (2) 出席者数 18名
 - (3) 出席した委員の氏名 別紙出欠状況のとおり

5. 議事の経過の要領及び議事別の議事事項

司会	定刻となりましたので、南丹市地域公共交通会議を開催させていただきます。本日、進行を務めさせていただきます。地域振興部長の平井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。はじめに、開会にあたりまして、南丹市地域公共交通会議 松中会長から、ごあいさつを申し上げます。
会長	お世話になります。本日の会議では、地域公共交通会議と地域公共交通活性化協議会の2会議を開催しますが、特に後半の活性化協議会では、国、国交省に対して、幹線系統、フィーダー系統の補助金申請を行う上で、この会議で議論いただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。
司会	ありがとうございました。会議に入ります前に、各団体等の人事異動に伴いまして、今回新たに委員としてご就任いただいた皆様をご紹介させていただきます。お手元の資料に、名簿があると思っておりますけれども、数字の番号順にご紹介させていただきます。7番の南丹市PTA連絡協議会理事の川勝委員、16番のJR西日本京滋支社地域共生室の吉田委員、19番の近畿運輸局京都運輸支局首席運輸企画専門官の日高委員、21番の京都府南丹警察署交通課長の下野委員、22番の京都府南丹広域振興局地域連携振興部企画連携推進課長の小石委員でございます。本日は代理出席でお世話になります。本日の出席者数でございますが、委員数25名に対しまして、代理を含めまして18名の方々にお世話をいただいております。条例第6条第2項に基づきまして、本会議が成立していることをご報告いたします。 なお、代理でご出席いただいている委員をご報告します。13番の京阪京都交通の阪本社長の代理で町田課長、京都府南丹広域振興局の小石課長の代理で押阪主事にお世話になっております。よろしくお願いいたします。

	<p>それでは早速ですけども、議事に入らせていただきたいと思います。条例第6条1項に基づきまして、会長に進行をお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>それでは、まずは次第に従いまして、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>失礼いたします。</p> <p>それでは、報告事項、南丹市内の公共交通利用者数の推移について説明させていただきます。資料1ページをご覧ください。南丹市内公共交通利用者数の推移として、コロナ前、平成30年度から直近の令和5年度までの利用者数を記載しておりますので、ご確認ください。</p> <p>緑色、南丹市営バスの利用者数は、コロナの影響で減少しておりますが、令和5年度にかけて回復傾向にございます。</p> <p>青色、ぐるりんバスは利用者数増加傾向にあり、令和5年度は直近5ヶ年で最大の利用者数となっております。令和元年10月1日から運行を開始した新光悦村工業団地に接続する新光悦村線の利用者数の増加、これに伴うものと考えられます。</p> <p>黄色、京阪京都交通の市内路線全利用者数は、コロナ禍の令和2年度にかけては減少しておりますが、その後、令和5年度にかけては増加しております。亀岡市内で工場に勤務される方の通勤利用が新たにできたことやその他、農芸高校の生徒の通学に使用される農芸線などでも利用者数が増加傾向にございます。</p> <p>赤色、デマンドバスについては、利用者数はコロナ前より減少しております。今後、住民周知などをより深く行い、さらに利用促進に努めていくこととしております。</p> <p>次に、2ページをご覧ください。</p> <p>南丹市内の鉄道駅7駅について、利用者数の推移を記載しております。令和2年度にかけて利用者数が減少しており、令和5年度まで、ある程度回復しておりますが、コロナ前の水準には戻っていない状況でございます。今後、利用促進の取り組みなどを積極的に推進し、利用者数増加につなげていきたいと存じます。直近5ヶ年間の、公共交通利用状況について委員の皆様へ共有したく、報告事項とさせていただきました。報告事項につきまして以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それではただいまの報告につきまして、ご意見はございますでしょうか。令和元年度がコロナ前の最後の年で、令和2年度からコロナということで、昨年度令和5年度に5類に移行されています。ただ、令和5年度を見比べると少し減少した路線や利用者が回復していない路線もありますね。</p>
委員	<p>今、利用者数の推移というのがありましたが、美山町に限っては令和4年度に比ばまして令和5年度は増えていますが、人口は減少傾向にある。</p>

	この数字の伸びっていうのは、インバウンドの関係なのか、内容がわかりましたら教えてください。
会長	ありがとうございます。
事務局	事務局の方から回答させていただきます。直接そのインバウンド人数をカウントしたわけではないですが、傾向としてやはり令和4年度から令和5年度の伸びについては、一定インバウンド利用が戻ってきたと考えます。また、インバウンドにとどまらず、観光に利用される利用者が戻ってきているのかなと感じております。というのも、南丹市の市営バスの運賃、現金収入の伸びが、やはり令和4年度から5年度にかけて伸びておりまして、現金収入で利用される方というのは、主には観光の方という読み取りができますので、そういった部分を踏まえて、観光利用、インバウンド利用が戻ってきており、それが利用者数の方にも反映されていると感じております。以上でございます。
会長	はい、ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。
委員	すみません。質問というよりも、JRさんをお願いしたいことがございます。今、昼間の電車が、亀岡から園部が1時間に1本になっておりまして、子どもが自宅から高校通う時に、中間・期末テストの時期は、八木駅で快速電車を50分待つ状態が続いています。次の普通電車が亀岡駅には、30分間隔で来ます。うちは八木の神吉なので、八木駅へ子どもを迎えに行くのも、亀岡駅へ迎えに行くのも10分程度しか変わりません。この場合、どうしても快速電車に間に合わず、普通電車しか乗れない場合は、亀岡駅まで迎えに行きます。八木駅や園部駅の利用者が減っていると思うのですが、知り合いの方にも聞いたら、やっぱり、亀岡駅まで迎えに行くということを知っているのか、亀岡駅よりも南丹市側の駅はこういった日中に1時間に1本になっていることによって、利用者が減っていると考えます。できたら日中に普通電車を園部まで延長していただいて、最低限でも昼間30分に1本の確保をお願いしたいと思っております。よろしくお願ひします。
会長	ありがとうございます。
事務局	今、委員さんからお話ありましたが、こちらの方としても思いは同じございまして、令和4年3月のダイヤ改正でJRダイヤが減便され、当然亀岡駅から園部駅間の電車の本数も減っているのですが、同様に園部駅以北についても減っております。南丹市の場合は、7つのJR駅がございまして、その全体として要望しております。南丹市だけじゃなく、一本で繋がっており、例えば南ですと、千代川駅や並河駅がございまして、北へ行きますと京丹波町の駅もございまして、連携して2市1町で、そのあたりを要望しております。ただ、今の経過としては、昨年秋に知事が自ら要望に行かれた件で、知事にもお願いしていましたが、殿田中学校のクラブ

	<p>が終わってから下校、帰る時間の部分は調整をいただいたのですが、増便には至っていないというところがございます。引き続き粘り強く要望もしていくことと、併せて利用促進をしなければなりません。例えば八木で先日ヤギの駅長さんの記事が新聞に掲載されていましたが、そのようなイベントを行ったり、胡麻駅で実施した駅舎の改修など、そういったことで利用促進にも何とかつなげていきたいと考えております。私自身八木に住んでおり、おっしゃるように亀岡駅まで車で行くとそれほど時間は変わらないのですが、できるだけ市内の駅から乗り降りできる形をとって、面倒くさいかもしれませんがご協力いただいて、少しでも利用促進につなげていただきますように、よろしくお願ひしたいと思っております。以上です。</p>
会長	<p>本日、JR西日本は欠席と伺っております。</p> <p>関連して、皆さんもご存じかと思っておりますが、千葉の方でも同じJR東日本さんのダイヤ改正に対して、いろいろと活動されまして、多少ダイヤがもどっている部分もあるという例もございますので、こちらに関しましても粘り強く周辺市町さんと連携しながら進めていくということで。</p> <p>今回いくつかの事業者では、少しコロナ前の状態に戻りつつあるということでございますが、よくよく数値を見ていきますと、路線ごとにまだ戻っていないところもございますし、決算全体として、プラスになっているところは新たな路線であったり、新たな需要が創出された形で需要が戻っているように見えるというところもございますので、やはりまだコロナの影響というのは少し残っているということは意識しつつ、これからの議論を進めて参りたいと思っております。</p> <p>他にただ今の報告に対してはご意見等ないようですので、本日の公共交通会議の議題としては以上となります。</p> <p>その他何かご意見等はございますでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局の方から、その他として報告をさせていただきます。お配りしました資料3ページになります。「市営バスに乗ろう」というチラシを添付しております。こちらにつきまして、胡麻地域で「市営バスに乗ろう会」という取り組みが5月22日に実施されました。以前に五ヶ荘地域で実施いただいた取り組みが他の地域にも波及しまして、この度、胡麻地域で実施いただいたものになります。当日は25名の利用者にご利用いただいたと聞いております。今後もこういった地域主導のバスの利用促進の取り組みについて、行政としても協力を行い、こういった取り組みが継続し、波及し推進されていくように進めたいと考えております。以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にはございますでしょうか。他にご意見等ないようでございますので、以上をもって議事を終了したいと思います。</p>

	皆様、どうもありがとうございました。
事務局	<p>それでは南丹市地域公共交通会議としましては、以上で閉会させていただきます。</p> <p>引き続き、公共交通活性化協議会を開催させていただきますが、少し休憩のうえ、始めさせていただきます。お世話になりますが、よろしく願いいたします。</p>